



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●「次亜塩素酸ナトリウム」と「次亜塩素酸水」は違います

「次亜塩素酸ナトリウム」と「次亜塩素酸水」は、名前が似ていますが、異なる物質ですので、混同しないようにしましょう。「次亜塩素酸ナトリウム」を水で薄めただけでは、「次亜塩素酸水」にはなりません。使用の際には注意をしてください。

【次亜塩素酸ナトリウム】

◆アルカリ性

「次亜塩素酸ナトリウム」は市販の家庭用の塩素系漂白剤の主成分です。手指や皮膚の消毒には使えません。金属腐食性がありますので、消毒後の薬剤の拭き取りを十分に行ってください。

感染性胃腸炎の原因であるノロウイルスやロタウイルスなどアルコールが効きにくいウイルスの消毒に有効です。

次亜塩素酸ナトリウム



用途に応じた適切な希釈濃度に薄めて使用します。詳しくは下記をご覧ください。

●次亜塩素酸ナトリウムでのノロウイルスの消毒方法

「業務用の次亜塩素酸ナトリウム」、または「家庭用の塩素系漂白剤」を水で薄めて、消毒液を作ります。製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。

製品の濃度	0.02%(200ppm)		0.1%(1000ppm)	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L

↑厚労省のリーフレットより「次亜塩素酸ナトリウム」

【次亜塩素酸水】

◆酸性

「次亜塩素酸」を主成分とする酸性の溶液。「次亜塩素酸水」にはいくつかの製法(食塩水や塩酸を電気分解、次亜塩素酸ナトリウムをpH調整、など)があり、製品によって使用方法や消毒効果が異なります。

ノロウイルスに対する消毒効果については、製造メーカーにお問い合わせください。(厚生労働省のQ&Aでは、ノロウイルスの消毒には、次亜塩素酸ナトリウムや亜塩素酸水などが有効とされています。)

使用の際には必ずメーカーの指示通りの濃度で使用してください。希釈濃度が低い場合、消毒効果が得られなくなる可能性があります。

期 間		2021年 50週		2021年 51週		2021年 52週	
		12/13~12/19		12/20~12/26		12/27~1/2(最新)	
疾患名	51・52週 疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	54	3.38	53	3.31	49	3.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	7	0.44	5	0.31	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	3	0.19	3	0.19	2	0.13
感染性胃腸炎	➡	179	11.19	201	12.56	137	8.56
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	1	0.06	2	0.13
手足口病	➡	24	1.50	23	1.44	16	1.00
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	11	0.69	12	0.75	5	0.31
ヘルパンギーナ	➡	1	0.06	1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	3	0.60	3	0.60	4	0.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00	0	0.00